

# 関 沢 小 学 校 区

どちらも  
「避難場所は小学校」

# つ る せ 台 小 学 校 区

# まちの防災活動

年末になると「火の用心」の声を思い出す方も多いと思います。今回は、身近な地域で災害に備える活動をしている防災会のみなさんに取材しました。いざというとき適切な行動がとれるようお互いに情報を共有しておきたいものです。

## つるせ台小学校区防災連絡会

会長 笠原 敬一さん



物資を運ぶための訓練の様子(つるせ台小学校にて)

つるせ台小学校区の9つの町会では、平成24年度に避難所となるつるせ台小での宿泊訓練を伴う合同防災訓練をしました。平成26年度にも市の防災倉庫の資機材訓練を合同で行いました。

その年から、市内の複数の町会の防災会で構成された「連絡会」を作って合同の訓練等を行うとき、行政から補助金を給付してもらえらることになりました。私たちの活動はまさにこの趣旨に沿うものであると、9町会長での合意をもとに「連絡会」を設立、承認を得て活動することになりました。いくつもの町会の都合を調整しながら企画立案するには苦労しますが、合同ならではの訓練を主に、初歩的なことから順に訓練計画を立てて実施しています。

私たちの合同防災訓練は今年で3年目となります。急な選挙で予定が狂い2月に延期となりましたが、実際に役立つ組織になるよう一歩ずつ計画・実践していくつもりです。

## 鶴瀬西3丁目西町会防災会

会長 山本 昇一さん

- 町会単独の防災訓練を実施。
- 昨年は消防ホースの取り扱い訓練を行いました。
- 災害時要援護者に対応するための「災害時まもり隊」が活動中です。年1回防災アンケートを全戸配布し、隊員募集と災害時要援護者の申請を行えるように調査しています。

## 上沢3丁目町会防災会

会長 清田 正志さん

- 朝の見守り、昼の防犯パトロール、カチカチ夜回りなどの活動を行っています。
- 防災資機材の充実にも気を配っております。



消火、発電などの機材(コンフォール鶴瀬)

## 鶴瀬西2丁目北町会 コンフォール鶴瀬自主防災会

会長 川添 生治さん

- 情報班/消火班/救助班/誘導班/給食班の体制を作り、訓練や研修を実施。
- 年2回自主防災訓練・講演等を実施しています。
- パトロールを月4〜5回実施。
- 災害時要援護者や乳幼児への対応が円滑にできるようにつとめたいと考えています。

## つるせ台小学校区 合同防災訓練

平成30年2月17日(土)に実施予定(雨天時は翌日)。  
会場はつるせ台小学校。  
つるせ台小学校区(鶴瀬西、大字鶴馬、上沢3丁目)の9つの町会での合同開催です。

## 関沢2丁目東町会防災会

防災部長 遠藤 雅彦さん

- 今年5月に講師を招いて講習会を実施、消火器を用いたの初期消火訓練、AEDの使用の訓練を行いました。
- 平成29年11月26日にも講習会を開催します。スライド視聴、炊き出し訓練、防災資材の取り扱いの講習を実施予定です。



夜間のパトロール(関沢2丁目東町会)

## 関沢2丁目旭町会防災会

会長 春日 忻皓さん

- 平成24年6月の創設以降、年2回を目標に防災訓練を実施しています。
- 今年6月には立川市の防災会館を訪ね、本格的な設備

## 関沢3丁目東町会防災会

会長 新井 隆夫さん



バケツリレーによる消火訓練(関沢2丁目旭町会)

- 11月には入間東部地区合同防災訓練に参加し、ヘリを使った高所救出訓練など屋外での訓練を体験予定です。
- で地震や火災(煙)を体験。
- 本部班/情報班/消火班/救助班/避難誘導班/給食給水班を組織。
- 今年度は6月に火災を防ぐための講習とアルファ米の試食会を行いました。
- 11月5日(日)には市の安心安全課を招いて講習を行いました。炊き出し訓練とアルファ米の試食会を実施しました。

## 関沢3丁目西町会防災会

会長 長坂 靖夫さん



防災倉庫(関沢3丁目西町会)

- 情報班/消火班/救助避難誘導班/給食給水班を組織。
- 1期2年間で務める役員は、年4回の役員会等で意志疎通をはかっています。9月には前年度防災リーダー講習会の勉強会を行いました。
- 11月下旬には炊き出し訓練を、平成30年1月には防災リーダー講習会の受講を予定しています。

## 関沢地区 3町会合同消防訓練

平成30年3月25日(日)に関沢集会所にて実施予定です。  
関沢2丁目東町会・関沢3丁目西町会・関沢3丁目東町会の合同開催です。

## ひとくちコラム「まず頭を守ろう！」

ある日突然「ぐらっ」と大きな地震がきたらどうしますか？まず慌てないで、頭を守ることが大切だと考えます。そこにある座布団でもいいのでなにかを被る、テーブルの下にもぐるなど…。それから、次のことができたらいと思われま。

- ① 同居家族の安否確認
- ② 家の玄関のドアを開ける(出口の確保)
- ③ スリッパをはく(ガラス片などでのケガを予防)
- ④ 火事はただちに消す…が、自分の背丈以上に炎があがったら消火をやめて避難する

万が一の時に冷静に行動できるよう、そなえたいものです。



文・實戸長生編集委員  
イラスト・萩原 弘 編集委員

※本文中の予定等は変更になる場合があります。また、あらかじめご了承ください。